

# 埼玉県立循環器・呼吸器病センターだより

発行：埼玉県立循環器・呼吸器病センター（地域医療連携室）

〒360-0197

埼玉県熊谷市板井1696 電話048-536-9900

初冬の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

当センターは、平成29年3月に新館が完成し、北部保健医療圏初となる緩和ケア病床を新設します。これに伴い、今年度の「いきいき健康塾」では緩和ケアをテーマとしました。当日はとても寒い日でしたが、大勢の方に参加していただきありがとうございました。緩和ケアについて、ご理解いただけたことと思います。また、新館棟では外来化学療法室やハイブリッド手術室を設置し医療機能を充実させる予定です。今後とも、医師会の先生方と連携し病院運営を行ってまいりますので、御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

病院長 星 永進

## 【着任のごあいさつ】

11月から循環器・呼吸器病センターに赴任した黒澤 永と申します。当センターでは平成29年3月に北部保健医療圏初の緩和ケア病棟を開棟する予定になっており、その立ち上げから運営に携わる予定です。

抗がん剤治療を開始した時点で、がんによる痛みを感じる場合があります。また、「がん」という病気になった時点で多くの患者さんやご家族は不安やストレスを感じます。緩和ケアとはこれらの身体的、精神的苦痛を少しでも和らげることを目標とするケアです。

私は平成6年に千葉大学卒業後、千葉大学病院、都立府中病院（現多摩総合医療センター）、千葉県済生会習志野病院などで消化器外科を中心とした外科一般を経験してきました。

平成18年に出身地に近い深谷赤十字病院に赴任しました。もともと緩和ケアに興味があり学会参加などを通じて学んでいましたが、基本的には普通の外科医として働いておりました。しかし、徐々に緩和ケアに専念したい気持ちになり、平成22年に埼玉県立がんセンター緩和ケア科に移動しました。平成25年より出身地に近い行田総合病院緩和ケア内科勤務を経て、今回当センターに赴任しました。

平成29年3月までは緩和ケア病棟立ち上げの準備の他に、現在当センターで治療を受けている患者さんで辛い症状でお困りの方の主治医の先生のサポートを行ってまいります。お困りの方は主治医の先生もしくは担当の看護師にご相談ください。

3月以降は緩和ケア病棟が開棟します。緩和ケア病棟は残念ながら抗がん治療が無効になり継続できなくなった方や様々な事情で当初から治療が行えない方、ご自身の意思で抗がん治療を受けない方の辛い症状を緩和する場所です。辛い症状が緩和され自宅での生活を希望される場合は、地元の開業医の先生や訪問看護師、ヘルパーの方たちと協力し在宅療養に移行することも可能です。また、その場合は体調が悪くなったら再入院も可能です。

緩和ケア病棟に入院をご希望の方は、主治医の先生からの紹介が必要で初回は予約が必要です。緩和ケア病棟に入院したい意思が確認できれば、それ以降は状態が変わったときに臨時的対応も可能です。

今までなかった地域の緩和ケアの発展のため、少しでもお役に立てればと思っております。これからよろしく願いいたします。



緩和ケア科副部長 黒澤 永

## 「新館棟」平成29年3月下旬オープン予定！



■新館棟整備後の病床数：343床（一般病床292床（うち緩和ケア24床）、感染症病床21床、結核病床30床）

### 1 主な整備内容

#### (1) 新たな政策医療の新設

- ①緩和ケア病床の新設（24床）
- ②感染症病床の新設（21床）

#### (2) 高度・先進医療への対応

- ①呼吸器専門集中治療室（RCU）の新設（8床）
- ②外来化学療法室の移設・拡充（ベッド10台）
- ③手術室の移設・充実  
（5室、うち1室に血管造影装置を備えたハイブリッド手術室として整備）
- ④呼吸器病棟の個室割合の増加  
（34%→79%）

☆呼吸器系病床はA病棟1～3階→新館3・4階

#### (3) 機能の集約

- ①手術室、診察室、病理検査等を集約
- ☆呼吸器系外来は治療棟→新館棟

#### (4) 快適な療養環境づくり

- ①飲食・物販の充実（コンビニの導入）
- ②緩和ケア病床の完全個室化

### 2 新館棟の概要

構造：鉄骨造 地上4階建

面積：延べ14,197平方メートル

工事期間：H27年10月～H29年1月予定

4階	病棟（呼吸器系病床・感染症病床）
3階	病棟（呼吸器系病床・感染症病床・緩和ケア病床）
2階	手術室・集中治療室（ICU・RCU）
1階	呼吸器系外来診察室・病理・外来化学療法室・コンビニ

平成28年11月1日

外 来 診 療 ス ケ ジ ュ ー ル

診療科	診察室	月		火		水		木		金	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
循環器内科	本②		腎臓・高血圧内 科(安田)								
	本③										
	本⑥	肺血管外来		藤原 堅祐	藤原 堅祐	池田 和也		腎臓・高血圧内 科(清水)	腎臓・高血圧内 科(清水)	利根川 玲奈	
	本⑦	村上 彰通	村上 彰通	中島 崇智	中島 崇智	鈴木 輝彦	鈴木 輝彦	仲野 陽介	仲野 陽介	藤井 真也	藤井 真也
	本⑧	宮本 敬史	宮本 敬史	武藤 誠	武藤 誠	白崎 圭輔	白崎 圭輔	武藤 誠	武藤 誠	永吉 信哉	永吉 信哉
本⑨	野々上 明		弁膜症外来		今井 忍		ペーペースカー (第5週休診)	ペーペースカー (第5週休診)	下肢血管外来		
循環器小児科	本②					菱谷 隆					
心臓外科	本②			花井 信	花井 信						
	本③							小野口 勝久		山城 理仁 (第5週休診)	成人先天性心疾患 (第2週のみ)
	本⑤			田口 真吾	田口 真吾						
血管外科	本②									手塚 雅博(午前)(第1・3・5週)	
	本③			墨 誠	動脈瘤 閉塞性動脈硬化症					静脈瘤(午前)(第4週)	
脳神経外科	本①										
	本③		埼玉医大脳卒中 外科医師							埼玉医大脳卒中 外科医師	
	本⑤	伏原 豪司								池田 俊貴	
	治内①	高久 洋太郎		鍵山 奈保		小田 島丘人				鍵山 奈保	
	治内②	小田 島丘人		佐久間 翔		高柳 昇				倉島 一喜	
呼吸器内科	治内③	石黒 卓		柳沢 勉		柳沢 勉				中元 康雄	
	治内⑤	太田 池恵		倉島 一喜		中元 康雄				西田 隆	
	治外②									奥田 慶太郎	
	本②							緩和ケア内科 (黒澤)			
	治外①	星 永進		高橋 伸政		齋藤 雄一				堀内 翔 諸岡 宏明 (隔週)	
消化器外科	治外②	神山 陽一				豊増 嘉高				神山 陽一	
リハビリテーション科	治	洲川 明久				洲川 明久				洲川 明久	
	RI・ リニアリ/リ線 RI・ リニアリ/リ線	叶内 哲 松本 寛子				松本 寛子					
放射線科		叶内 哲 松本 寛子				松本 寛子					

埼玉県立循環器・呼吸器病センター  
〒360-0197 熊谷市板井1696  
TEL 048-536-9900

※ 初診の方は、上記スケジュールにかかわらず、原則として午前の診察とします。11時までに受付してください。  
ただし、放射線科は月曜・水曜の午後のみ受け付けます。

## 【外来化学療法室の紹介】

これまで化学療法は入院が基本でした。しかし、近年は新規抗癌剤の登場、制吐剤等の支持薬の進歩により、副作用のコントロールが可能となり、外来でも安全に治療が行なえるようになりました。外来化学療法(通院治療)の利点は、通常の日常生活を送りながら、治療を継続できQOLの向上が図れることです。

当センターでも2010年に外来化学療法室を4床で開設しました。対象疾患としては肺癌が大部分を占めています。肺癌患者数の増加や、新規抗癌剤、分子標的薬、免疫療法の登場による治療成績の向上もあり、外来化学療法室を利用する患者数も年々増加し、4床では対応が困難となってきました。

これに対応するため、外来化学療法室は2017年3月に新館棟に移転し、10床(ベッド6台・リクライニングチェア4台)に拡充します。設備としては、患者様や付添いのご家族の方が治療中リラックスして過ごしていただけるように10床全てにテレビを配置し、室内にはラウンジ・更衣室・パウダールーム・トイレを設けました。また、各床の間隔も現在より広くなり、患者様の安全・プライバシーの確保を考慮した配置になっています。

入院治療から外来治療移行時には病棟看護師から申し送りがあり、継続看護ができるようにしています。治療中はがん化学療法認定看護師をはじめとする専任の看護師が常駐しており、患者様の体調をきめ細かく観察し、できるだけ安心して治療が受けられるようにしています。また点滴治療の時間を利用して、治療を受けた患者様やご家族が帰宅後も安心して日常生活できるようにセルフケア支援・副作用緩和等のアドバイスも行っています。

患者様にとって快適で安心・安全に個々の病状に応じた治療が受けられるよう、主治医・看護師・薬剤師が密に連携をとりながら治療を行ってまいります。

呼吸器内科医長 鍵山 奈保

## 【いきいき健康塾 in 熊谷を開催しました！】

病院の使命は、病気の患者さんへ良質な医療の提供を行うことが第一ですが、県民の健康保持を担うことも重要な役目です。

当センターでは平成13年からこの健康保持を目的とした医療講演や医療相談を「いきいき健康塾」として行っています。

現在整備中の新館棟に北部保健医療圏初となる緩和ケア病床を新設することから、本年度は「緩和ケア」をテーマとして開催しました。

例年は地域に出向き実施をしておりましたが、医療機関や訪問看護事業所等、緩和ケアに関わりの深い事業所の方に大勢参加いただけるよう、より広い会場として当センター講堂で行いました。

当日は大変寒い日となってしまいましたが、個人・事業所ともに数多くの方にご参加をいただき、県外の方にもご参加をいただくことができました。

医療講演会では、柳澤副院長兼緩和ケア科長を座長に、緩和ケア科の黒澤副部長と呼吸器内科病棟の塚田看護師長から、新しく整備する病棟の紹介や「緩和ケアとはなんだろう」という素朴な疑問についてわかりやすくお話をさせていただきました。

アンケートでは回答者全員から「参考になった」とのご意見いただき、医療講演会後の緩和ケア相談会も含め、ご好評をいただけたものと考えております。

参加者からいただいた「この地域に緩和ケア病棟が整備され心強い」との御意見を励みに、平成29年3月オープンが好調にスタートできるよう、職員一同、準備を進めて参ります。

